



華麗なる図書館利用者のための

Cool Librar

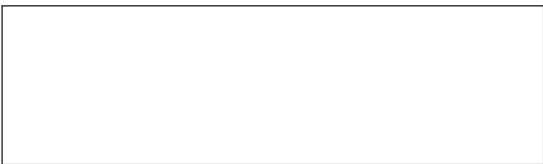
カールブライ

講座

カジのうら若き青春黙示録

文/カジ

自由記載欄



人生のバレンタイン勝率

3勝27敗ぐらいのカジが通りますよ！

前回までのあらすじはカット！

体験ロτζジのメインイベントとなったカラオケ大会が終了。それぞれが会場後片付けを行う中、大トリの熱唱の余韻に浸りながら、カジも机やら何やらを運んでいると、千絵ちゃんが話しかけてきた。「大きな目をキラキラさせながら、「すぐくよかったよ☆感動した！」なんて微笑んでくれたりするもんだから、それはもうねアレですよ。世の大人たちが、銀座の高級クラブとかにはまる理由が、何となくわかりますわ。ちよっと違っただけさ。」

さて、歓喜のカラオケ大会から一夜明け、バスに乗り込み学校へ戻る。学校へ着くと、簡単なおつかれ様のあいさつがあり、それぞれ帰宅となる。終わってしまったなあという寂しさを抱えながら席を立った時、千絵ちゃんがカジを呼び止める。

「ねえ、今日帰ったら時間ある？」

！！

今日は2月14日。この日に千絵ちゃんから時間ある？って聞かれて、「ない」などという返事はない！たどえ何か予定あったとしてもそっちを蹴る！愚問中の愚問ですよ。

「大丈夫だよー」と喜びを隠し切れない声で返事をして、時間と場所の約束。嬉々として帰宅したカジ少年は、土曜日の昼メシの定番「やきそば」をお茶で流し込み、その時を待つ。待ち合わせ場所である「たこやき屋」は自宅から自転車ですぐ1分。12時59分に家を出て、約束の13時ぴつたり到着。完璧だ。完璧な流れだ。

お店に入ると麗しの千絵ちゃん：と、クラスの子数人が：あれ？これはどういうことだ？ 席に着くと、千絵ちゃんが嬉しそうに大きな買い物袋を取り出した。「今日はバレンタインでしょ？」

これ、みんなからのチョコだよ☆」手渡された袋には、量産型チョコが大量に入っている。

「お、おう。ありがとうみんな」

6割強の笑みを返すカジ。そうか、みんなからね：まあでも嬉しいよな。うんうん：その後は、ひとしきり雑談。雰囲気を見てそろそろ帰ろうかなと立ち上がる。

最後にお礼を言っただけ店を出るカジ。扉を開けて外に出たその時：

